

公立保育所の再整備について

1 主旨

老朽化が進んでいる公立保育所については、「藤沢市公共施設再整備基本方針」及び「第2次藤沢市公共施設再整備プラン」に基づき、効率的かつ効果的な再整備を進める必要があります。

つきましては、現時点における公立保育所再整備に係る市の方針及び再整備概要等について報告させていただくものです。

2 公立保育所再整備に係る市の方針

公立保育所については、地域の他の子育て支援関連施設との調整役となり、市全体の保育の質等の向上をめざす「基幹保育所（4園：藤沢、辻堂、善行・善行乳児、しぶやがはら）」、それを補佐する「地域保育所（6園：鵜沼、藤が岡、高山、浜見、またの、湘南台）」及び「その他保育所（4園：柄沢、明治、小糸、あずま）」の3つに区分します。

今後、「基幹保育所」及び「地域保育所」については、原則として、他の子育て関連施設との複合化により再整備を行うことを検討し、「その他の保育所」については、建物の老朽化や地区の待機児童の状況を鑑み、今後の施設のあり方を検討します。

3 現時点において事業着手している再整備概要等

(1) 辻堂保育園（基幹保育所）

平成30年度から平成31年度にかけて近隣地へ新園舎を建設し、平成31年9月の供用開始を見込んでいます（別紙「地図」参照）。

なお、定員は移転後も現行の「180名」とし、需要増が見込まれる放課後児童クラブとの複合施設として整備する予定です。

(2) 藤が岡保育園（地域保育所）

「藤沢市藤が岡二丁目地区再整備事業」として位置づけ、近接した2つの公共施設（旧藤が岡職員住宅・旧市民病院看護師寮）の敷地を合わせて、藤が岡保育園、つどいの広場及び放課後児童クラブを含めた複合施設として建て替えを行うものです。

また、建て替えにあたっては、現行119名の定員から140名程度へ拡大を図るとともに、一時預かりを実施する予定です。

なお、解体工事が始まる平成30年5月に近接地の仮設園舎へ移転し、

平成33年度中の新園舎供用開始を見込んでいます。

(3) 浜見保育園（地域保育所）

近隣の鵜南小学校の全面改築にあわせ、浜見保育園及び放課後児童クラブと学校敷地内に一体的な複合化施設として再整備を図ります。

平成30年度から設計を行い、平成33年度中の供用開始を見込んでいます。

なお、定員は移転後も現行の「120名」とする予定です。

- ※ その他、事業未着手ですが、善行・善行乳児保育園は平成34年度中の、鵜沼保育園は平成35年度中の新園舎供用開始を見込み、「第2次藤沢市公共施設再整備プラン」に検討事業として位置づけています。

以 上

事務担当 子育て企画課・保育課